

# 6月の子育て支援センターだよ



台風1号が発生する中、ベビバスの簡単田んぼで田植えができました。田植えといっても、0~1才の子たちなので、抜く方が楽しくなって「たぬき」になりました。6月は父の日がありますね。仕事も家庭も子育ても…そして遊びも一生懸命のパパ♡いつもありがとうございます♡先日も、センターの砂場で砂補充と天地返しのカ仕事を手伝っていただきました。皆で作るセンターに、また一歩近づき、よしずの屋根もついて、砂場遊びが更に楽しめるようになりました。汗かきの子どもたち、水分補給は水や麦茶などをおすすめします。

## ちやちやあわわ

月 ちやちやあわわ

かいぐり かいぐり ととのめ

おつむ てんてん ひじほんぽん



手を合わせて  
ちやちや

子どもの頃、「ちやちや何？」と思いながら、おばあちゃんに教えてもらいました。外出先でグズっていると、このちやちやで笑顔になってました。赤ちゃんも大好き、不思議なちやちやです。

## 6月の わらわうた



## よちよちの日

歩いて走ってワクワクしよう!!をコンセプトとして、毎週火曜日に、多目的ホールでリズムに合わせて体を動かしたり、センターの近くへお散歩に出掛けたりしています。

人的環境、物的環境など、色々な刺激を受けて、子ども達、お母さん達も楽しい時間が過ごせたら…と思っています。

散歩の予定でも雨が降った時には、多目的ホールの活動を考えていますので、ぜひ予約をして参加して下さいね!



## カマキリ 赤ちゃん



## 生まれました♡



## あかちゃんの日



センターのアナベルも白く咲き出す6月となりました。梅雨の季節、家で過ごす事も多くなると思います。そんな時、絵本を読んでみてはどうでしょうか。

あかちゃんの日でも、読み聞かせをおこなっています。みんな『じーっ』と絵本をよくみて話を聞いてくれます。

大好きなおかあさんの声、優しいまなざし、暖かな抱っこ心地よさ、あかちゃんはそれだけで安心します。どうぞ、たくさん絵本を手にとってください。そして、おかあさんのぬくもりをあかちゃんに伝えてください。

そこに絵本がある、しあわせ!



少し大きな赤ちゃんの日



5月はラップの芯でコロコロ棒を作りました。お母さん方がラップ芯に思い思いに絵や模様を描きました。その間こども達は他の大人や友達と待たてられています。コロコロ棒は、はいはい遊びやママのメッセージに使っています。触れあい遊びをたくさんしていますが、触れあうことは大切です。お子さんの笑顔に向けて「大好きだよ」と声をかければ子育ての土台となる安心感が育つと聞きました。

みんなで散歩

6月は現地集合の北極「愛宕山ふるさと公園」センターより出発の市内「辰巳町公園」を予定しています。

～のびのびの日～



くしばふ広場

<自然園入口>  
5/7に、4組の親子と、赤城自然園に行ってきました。天気に恵まれ木々の中、ラップの敷きつめられた道を歩み、雨降には、花々が咲き池には大きな鯉、小川では蛙の声に耳を傾け、しばふ広場では、思い思いに自然を満喫!! 帰り道では、クイズの答えを探し、見事缶バッジのおみやげも記念に頂きました。「他の季節にも来てみたいですよ」と笑顔いっぱいの散歩では、  
・自分ではちょっとと思っても、誰かと一緒ならきっと楽しいかも? そんな気持ち大事です。  
★今日は、さつま芋の苗植えも予定しています。



その子のペースで、原体験を増やす

主体性には、子どもの内側から出てくる「やりたい/やりたくない」「なんかイ/なんか他だ」などの感覚(主体性:A(心))と、頭を動かして行動を選択する(主体性:B(頭))があります。

大人でも子どもでも、主体性を大切にする時は「間」をしっかりと取る必要があります。

包問自答する「間」をしっかりとること。「その間、その子のペース」ということが自分で決めるポイントになります。

その時に心の支えになるのが「一緒に笑って楽しんで、記憶を残してやる」ということです。



原体験は、その後の人格形成や行動に影響する非常に重要な体験です。

子どもにも聞いてほしい「子どもの主体性が大事です」

(参照:けん No. 203)

自然物と手仕事で、心が動かし主体性が育つ

心が動く場所 - 自然物の中です。

石・土・水・植物・虫の力を借りて、子どもの主体性:A(心)を刺激し、心に火をつけることとしましょう。

手仕事 - 生活の中で子どもがまねて手伝える生活の営みです。

手仕事は、参加の度合いが選べる点も優れています。

「見るだけ、言うだけ、そこにいるだけ」も主体性:A(心)は育っています。

「やってみたい」の火がつけば、主体性:B(頭)行動に移ります。

主体性:A(心)と主体性:B(頭)の連携がうまくいくなかると、心の病になるので子どもの時からしっかりと主体性:A(心)を育てることが大切です。

主体性:A(心) = できなくても、その子が楽しそうに笑っている時は、それで充分の心は育っています。

